

令和7年度公民館・門真市民プラザ指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和6年度

施設のサービス水準の視点コメント

利用者アンケートの結果からも、設備の充実度や利用のしやすさ、職員の対応など、サービス面において概ね満足いただいているため、引き続き利用者目線の運営に務めていただきたい。
市民等からの意見・要望についても、真摯に受け止め対応する姿勢を評価したい。

収支状況 コメント

収入においては、施設利用料は予算額とほぼ同等の実績額であり、目標達成のための工夫や努力が見られる。一方で、事業収入が予算額を下回る実績額となっているため、収入合計としては実績額が予算額を下回る結果となった。
支出においては、昨年度に引き続き賃金引上げや光熱水費の高騰によって人件費や管理費の実績額が予算額を上回る結果となってしまったが、印刷費や備品購入費の節減や、修繕の内製化を可能な範囲で実施するなど、更なる支出増を抑える工夫をして運営していた点を評価したい。

市による総合評価 コメント

生涯学習活動の発表の場でもある生涯学習フェスティバルや公民館まつりを本年度も開催し、サークル活動等で施設を利用される方々にとって、日々の活動の励みとなるよう事業を推進された点を評価したい。
また、自主事業については、本年度も「かどま大学」と題した、市民が楽しんで受講できる講座を多数実施し、生涯学習の推進のために取り組んで頂いた点、オープン3年目を迎えた「KADOMA TEENS BASE」において、中高生の放課後の居場所づくりの提供や、サークル団体の方々と世代を超えた関わりなど、様々な機会を創出する役割を担っていただいた点を評価したい。
今後も施設利用者にとっては、いつでも気持ちよく、利用しやすい施設となるような管理・運営を行っていただくとともに、空調設備の整っていない屋内施設については、引き続き熱中症対策等の対応をお願いしたい。
また、イベントや講座に参加される方々にとっては、継続して参加したいと思っただけのような事業の実施をしていただきたい。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A： 協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B： 概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C： 協定事項等の水準以下であった